

共通テスト難化を受け、難関大を中心に安全志向が強まる ～2026年度国公立大学2次試験の志願状況を河合塾が分析～

河合塾は、2月25日（水）から始まる国公立大一般選抜の志願動向を分析したレポートを教育関係者向け情報サイト『Kei-Net Plus』に公開しました。1月に行われた大学入学共通テストの難化を受け、難関大の2次試験志願者が減少するなど安全志向が見られるとともに、中・後期日程の志願者が減少しました。本リリースでは分析の要点をご紹介します。

■前期日程は前年並み、後期・中期日程で志願者減

前期日程の志願者数は235,310人(前年比100%)と前年並みを維持しました(図表1)。志願倍率も前年と同じ2.8倍です。一方、後期日程は同96%、中期日程は同95%と減少。大学入学共通テスト(以下、共通テスト)の難化が、例年高倍率となる後期・中期日程への出願を控える要因の一つになったとみられます。

〈図表1〉国公立大志願状況

区分	日程	募集人員(A)		志願者数(B)				志願倍率(B/A)	
		25年度	26年度	25年度	26年度	前年差	前年比	25年度	26年度
国立大学	前期	63,567	63,137	178,603	179,598	+995	101%	2.8	2.8
	後期	12,243	11,964	121,127	115,062	-6,065	95%	9.9	9.6
公立大学	前期	16,870	16,857	57,114	55,712	-1,402	98%	3.4	3.3
	後期	3,202	3,053	38,815	37,747	-1,068	97%	12.1	12.4
	中期	2,388	2,410	32,841	31,132	-1,709	95%	13.8	12.9
国公立大学	前期	80,437	79,994	235,717	235,310	-407	100%	2.9	2.9
	後期	15,445	15,017	159,942	152,809	-7,133	96%	10.4	10.2
	中期	2,388	2,410	32,841	31,132	-1,709	95%	13.8	12.9

※河合塾調べ

※独自日程で実施する大学は表に含まない

■難関大を中心に志願者が減少。受験生の安全志向が強まる

入試難易度などからみた大学グループ別の志願状況を見ると、難関10大学、準難関・地域拠点大では志願者が前年比98%と減少しました(図表2)。一方で、難関10大学、準難関・地域拠点大以外の大学(その他の大学)は志願者が増加。共通テストの難化により、思うように得点できなかった受験生が高い合格可能性を求めて出願先を変えたことがうかがわれます。

〈図表2〉国公立大(前期日程) 大学グループ別志願状況

大学グループ	募集人員(A)		志願者数(B)				志願倍率(B/A)	
	25年度	26年度	25年度	26年度	前年差	前年比	25年度	26年度
難関10大	19,599	19,476	56,174	55,133	-1,041	98%	2.9	2.8
準難関・地域拠点大	13,896	13,792	44,917	43,875	-1,042	98%	3.2	3.2
その他大	46,942	46,726	134,626	136,302	+1,676	101%	2.9	2.9

※河合塾調べ

※難関10大：北海道、東北、東京、東京科学、一橋、名古屋、京都、大阪、神戸、神戸、九州

準難関大・地域拠点大：筑波、千葉、横浜国立、新潟、金沢、岡山、広島、熊本、東京都立、大阪公立

■ 難関国立大の状況 – 東京科学大で志願者大幅減

旧帝大を中心とした難関10大学の前期日程志願者数は前年比98%となる55,133人となりました（図表3）。大学別では東京科学大が87%と最大の減少となった一方、大阪大（103%）・一橋大（104%）・北海道大（104%）は志願者が増加しました。東京科学大の志願者数減は、理工系の学院で第1段階選抜の予告倍率が引き下げられ、第1段階選抜の通過者数（2次試験を受験できる受験者の数）が絞り込まれることへの受験生の警戒感が影響したものと考えられます。また、同大の医療系の学科も軒並み志願者数が減少しました。

〈図表3〉 国立難関10大学の志願状況

大学名	前期日程				後期日程			
	25年度	26年度	前年差	前年比	25年度	26年度	前年差	前年比
北海道	5,248	5,442	+194	104%	4,158	3,857	-301	93%
東北	4,617	4,515	-102	98%	1,378	1,267	-111	92%
東京	8,421	8,329	-92	99%	—	—	—	—
東京科学	4,323	3,754	-569	87%	334	316	-18	95%
一橋	2,671	2,777	+106	104%	1,897	1,598	-299	84%
名古屋	4,484	4,298	-186	96%	83	60	-23	72%
京都	8,077	8,015	-62	99%	—	—	—	—
大阪	7,099	7,335	+236	103%	—	—	—	—
神戸	6,178	5,899	-279	95%	4,216	4,235	+19	100%
九州	5,056	4,769	-287	94%	2,230	2,183	-47	98%
難関10大計	56,174	55,133	-1,041	98%	14,296	13,516	-780	95%

※河合塾調べ

東京科学大を含めた難関10大学の志望動向や、地区別・学部系統別の志願状況の詳細な分析は、教育関係者のための情報サイト「Kei-Net Plus」にてご覧いただけます。また、志願状況についての弊塾へのコメント取材も承ります。お気軽にお問い合わせください。

▼ 2026年度国公立大志願状況 | 河合塾レポート

<https://www.keinet.ne.jp/teacher/report/kjreport/25/260220.html>

[Kei-Net Plusでは現在進行中の2026年度入試の分析レポートを多数掲載しています]

▼ Kei-Net Plus

<https://www.keinet.ne.jp/teacher/>

▼ 2026年度 大学入学共通テスト概況分析

(本リリースで触れた共通テスト難化についても解説しています)

<https://www.keinet.ne.jp/teacher/report/kjreport/25/260209.html>

※2026年度主要私立大志願状況も近日公開予定



[報道関係者へのお願い]

本リリースの内容を引用・転載いただく際は出典「河合塾 Kei-Net Plus」の明記をお願いいたします。

— 本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先・取材申込先 —

河合塾 経営戦略担当グループ広報チーム 【TEL】 03-6811-5508

【E-mail】 press@kawaijuku.jp 【受付時間】 9:00~18:00 (土日祝・年末年始を除く)